

京都市社会教育委員のコラム

まなびのつぼ 第5回



吉川 左紀子 委員
プロフィール

専攻は認知心理学・認知科学。京都大学教育学部卒業後、追手門学院大学文学部助教授、英国ノッティンガム大学客員研究員、京都大学大学院教育学研究科教授などを経て、平成19年度から、心理学や認知科学、脳科学、人文科学など様々な領域からこころを総合的・科学的に研究する京都大学こころの未来研究センターのセンター長を務める。著書に『よく分かる認知科学(編)』(ミネルヴァ書房)など多数。

ブータンの小学校

私の勤務するセンターには「ブータン学研究室」があり、ブータン王国の宗教や文化の研究をおこなっている。2010年の秋に初めてブータンを訪れて以来、折にふれてブータンで見た風景や出来事を思い起こしている。

中でも小学校で見た風景は、忘れられない。朝、おそろいの民族衣装を着た子どもたちが、駆けるようにして学校に向かう。校庭に集まって学年ごとに整列し、壇上の先生のお話を聞いている様子は、日本の小学校とほとんど変わらない。唯一違うのは、朝礼の最後に全員が目を閉じ、頭上に手を挙げて静かに合掌すること。先生に聞くと、知恵の仏様である文殊菩薩にお祈り

京都市社会教育委員

吉川 左紀子 氏

(京都大学こころの未来研究センター長・教授)

をするのが毎日の日課だという。小さな手を合わせる子どもたちの姿は、活気に満ちた朝の学校を、一瞬のうちに、すがすがしく静謐な学びの場に変えてしまう。懐かしさや親しみだけでなく、多くの日本人がブータンで感じる「ちょっとしたうらやましさ」は、こんな学校のたたくまいの中にも潜んでいる。

ブータンの先生たちが日本の学校を訪れたとしたら、どんなことに注目するだろうか。そしてどんな印象をもつだろうか。私たちの気づかない、日本の学校の良さをたくさん見つけてくれるといいなと思う。近い将来、そんな日が来ることを楽しみにしている。

委員からのメッセージ

最近、断捨離を始めました。捨てるほど家の中に「ゆとり」ができて快適です。物忘れも、脳の中の「ゆとり」と考えれば怖くない...はず。ゆとりあれば憂い(うれ)をモットーに、今年後半の仕事を乗り切りたいと思っております。
吉川 左紀子

おすすめ情報

京都市学校歴史博物館は開館15周年を迎えます!



上村松園「楊貴妃」
松伯美術館蔵

明治2年に京都に誕生した日本初の学区制の小学校「番組小学校」に関する資料をはじめ、教科書や教材・教具などの教育資料、地域の方々や卒業生等が学校に寄贈した貴重な美術工芸品を保存・展示する日本唯一の「学校歴史博物館」は、番組小学校の一つ、開智小学校の跡地を活用し、平成10年11月に開館しました。

この度、開館15周年を記念し、特別展「近代京都画壇を育んだ人たち」を開催します。上村松園をはじめ、さら星のごとく輝く京都ゆかりの画家たちの作品約30点をお楽しみください。

会期：11月7日(木)～12月10日(火) 水曜休館
料金：大人200円・小中高生100円

学校歴史博物館

検索

京都市生涯学習市民フォーラム シンポジウム 申込用紙

日時 平成25年 **12月3日(火)** 会場 京都産業会館 8階シルクホール
午後2時～4時(午後1時30分開場) 下京区四条通室町東入

※電話・電子メールでもお申込みいただけます。

FAX専用

ふりがな		
お名前	電話番号 ()	
ご住所 (代表者のみ)	〒 -	
同伴者のお名前 及び ご住所 (代表者と 同じ場合は 記入不要)	〒 -	
	〒 -	
	〒 -	
託児・手話通訳をご希望の方は ✓ 印をお付けください。 <input type="checkbox"/> 託児希望あり (託児を希望されるお子様の年齢と人数 → 歳・人) <input type="checkbox"/> 手話通訳希望あり		



FAX 075-661-5855

申込期間 10月29日(火)～11月26日(火)必着